

平成29年度防衛関係予算のポイント

平成28年12月
内 野 主 計 官

防衛関係予算のポイント

29年度予算編成の基本的な考え方

1. 中期防対象経費については、「中期防衛力整備計画」に沿って、周辺海空域における安全確保、島嶼部に対する攻撃への対応等に重点化を図るとともに、装備品の調達効率化等を通じてメリハリある予算とする。
2. 防衛関係費全体では5兆1,251億円（対前年度比+1.4%）を計上するとともに、このうちSACO・米軍再編等以外の中期防対象経費については4兆8,996億円（対前年度比+0.8%）を計上。
3. また、新規後年度負担については、将来における予算の硬直化を招きかねないことから、総額を抑制しつつ、2兆1,299億円を計上（対前年度比▲6.9%）。うち中期防対象経費は、1兆9,700億円（対前年度比▲5.3%）。

〔歳出予算（一般会計）〕

	28年度	29年度	28' → 29' 増減
総 額	50,541 億円	51,251 億円	+710 億円 (+ 1.4%)
SACO・米軍 再編等を除く	48,607 億円	48,996 億円	+389 億円 (+ 0.8%)

〔新規後年度負担（一般会計）〕

	28年度	29年度	28' → 29' 増減
総 額	22,875 億円	21,299 億円	▲1,576 億円 (▲ 6.9%)
SACO・米軍 再編等を除く	20,800 億円	19,700 億円	▲1,100 億円 (▲ 5.3%)

※特段の注記がない場合、予算額は全て契約額ベース

1 周辺海空域における安全確保

—我が国周辺において、常続監視を行い、各種兆候を早期に察知する態勢を強化するため、情報収集や警戒監視態勢の強化に必要となる装備品の調達等を実施する。

- 潜水艦の建造（1隻：728億円）
東シナ海をはじめとする周辺海域の警戒監視能力等の強化のため、探知能力等が向上した新型艦（3,000トン）を建造。
- 音響測定艦の建造（1隻：224億円）
周辺海域における音響情報の収集能力を向上させるため、「ひびき」型3番艦（2,900トン）を建造。
- 掃海艦の建造（1隻：177億円）
耐性にすぐれたFRP製の「あわじ型」3番艦（690トン）を建造。
- 滞空型無人機（グローバルホーク）の取得（1機：168億円）
広域における常続監視能力の強化のため、滞空型無人機（グローバルホーク）を取得。
- 早期警戒管制機（E-767）の能力向上（2機：220億円）
南西地域をはじめとする周辺空域の警戒監視能力の強化のため、現有の早期警戒管制機（E-767）の中央計算装置の換装及び電子戦支援装置の搭載改修を実施。

2 島嶼部に対する攻撃への対応

—島嶼部に対する攻撃に対応するため、常続監視体制の整備、航空・海上優勢の獲得・維持、迅速な展開・対処能力の向上、指揮統制・情報通信体制の整備を実施する。

- 戦闘機（F-35A）の取得（6機：880億円）
現有する戦闘機（F-4）の減勢に対応し、戦闘機部隊を維持するとともに、抑止力及び対処能力を向上させるため、後継機としてF-35Aを取得。
- ティルト・ローター機（V-22）の取得（4機：391億円）
水陸両用作戦における部隊の展開能力を強化するため、輸送ヘリコプター（CH-47JA）の輸送能力を巡航速度や航続距離等の観点から補完・強化するティルト・ローター機（V-22）を整備。
- 輸送機（C-2）の取得（3機：553億円）
現有の輸送機（C-1）の減勢を踏まえ、航続距離や搭載重量等を向上し、大規模な展開に資する輸送機（C-2）を取得。
- 輸送ヘリコプター（CH-47JA）の取得（6機：445億円）
迅速かつ大規模な輸送・展開能力を確保し、実効的な対処能力の向上を図るため、輸送ヘリコプター（CH-47JA）を整備。
- 16式機動戦闘車の取得（33両：233億円）
作戦基本部隊の機動展開能力を強化するため、機動運用を基本とする作戦基本部隊等に航空機等での輸送に適した16式機動戦闘車を取得。
- 水陸両用車（AAV7）の取得（11両：85億円）
海上から島嶼部に部隊を上陸させるため、海上機動性及び防護性に優れた水陸両用車（AAV7）を取得。
- 12式地对艦誘導弾（改）及び哨戒機用新空対艦誘導弾の開発（115億円）
敵水上艦等への対処能力を向上させるため、現有品に比べて射程延伸等の機能・性能を向上させた12式地对艦誘導弾（改）及び哨戒機用新空対艦誘導弾を開発。
- 潜水艦の建造（1隻：728億円）〔再掲〕

- 音響測定艦の建造（1隻：224億円）〔再掲〕
- 滞空型無人機（グローバルホーク）の取得（1機：168億円）〔再掲〕
- 南西警備部隊の配置（707億円）
島嶼防衛における初動対処態勢を整備するため、警備隊等の配置に関連する奄美大島の造成工事等及び宮古島の用地取得等を推進。
- 陸上総隊（仮称）の新編に係る整備（50億円）
陸上自衛隊における全国的運用体制の強化に資する統一司令部を新編するため、埼玉県朝霞市に司令部庁舎等を整備。

3 弾道ミサイル攻撃等への対応

—弾道ミサイル攻撃に対し、我が国全体を多層的・持続的に防護する体制を強化する。

- BMD用能力向上型迎撃ミサイル（SM-3ブロックIIA）の取得（1式：147億円）
イージス・システム搭載護衛艦に搭載するBMD用能力向上型迎撃ミサイル（SM-3ブロックIIA）を取得。
- イージス・システム搭載護衛艦の能力向上（1隻：58億円）
平成24年度に着手した「あたご」型護衛艦2隻の弾道ミサイル対応に向けた改修を引き続き実施。

4 大規模災害等への対応

—各種の災害に際して、十分な規模の部隊を迅速に輸送・展開するとともに、統合運用を基本としつつ、要員のローテーション態勢を整備することで、長期間にわたり、持続可能な対処態勢を構築する。

- ティルト・ローター機（V-22）の取得（4機：391億円）〔再掲〕
- 水陸両用車（AAV7）の取得（11両：85億円）〔再掲〕
- 輸送ヘリコプター（CH-47JA）の取得（6機：445億円）〔再掲〕
- 輸送機（C-2）の取得（3機：553億円）〔再掲〕
- 野外手術システムの取得（1式：2億円）

5 米軍再編、基地対策等の推進、政府専用機の調達

※記載額は歳出ベース

(1) 米軍再編等関連経費（2,039億円）

—米軍の抑止力を維持しつつ、沖縄県をはじめとする地元の負担軽減を図るため、在日米軍の兵力態勢の見直し等についての具体的措置を着実に実施する。

- 地元の負担軽減に資する措置（2,011億円）
在沖米海兵隊のグアム移転、普天間飛行場の移設、厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐等を推進。
- SACO関係経費（28億円）
日米安全保障協議委員会（いわゆる「2+2」）共同文書による変更がないものについては、引き続き沖縄に関する特別行動委員会（SACO）最終報告に盛り込まれた措置を着実に実施。

(2) 基地対策等関連経費（4,529億円）

—防衛施設と周辺地域との調和を図るため、基地周辺対策を着実に実施するとともに、在日米軍の駐留を円滑かつ効果的にするための施策を推進する。

- 基地周辺対策経費（1,220億円）
自衛隊や防衛施設の運用等により発生する障害の防止等を図るため、住宅防音事業や周辺環境整備を実施。
- 在日米軍駐留経費負担（1,946億円）
在日米軍の駐留を円滑かつ効率的にするため、現行の特別協定に基づき、在日米軍従業員の給与の負担や隊舎の整備等を実施。
- 施設借料、補償経費等（1,363億円）
防衛施設用地等の借上や水面を使用して訓練を行うことによる漁業補償等を実施。

(3) 政府専用機関連経費（216億円）

6 調達効率化の推進

— 装備品取得の全般にわたり、更なる合理化・効率化を図るため、各種取組みを推進し、平成29年度以降で約2,040億円のコスト縮減を図る。

(1) 長期契約を活用した装備品等及び役務の調達 [縮減見込額：110億円]

- 陸自輸送ヘリコプター（CH-47JA）6機の一括調達 [縮減見込額：86億円（16.2%）]
一括調達による材料費、労務費等の減少により、調達コストを縮減。
- PBLへの長期契約の導入 [縮減見込額：24億円（16.5%）]
輸送機（C-130R）につき、可動率の向上と適時適切な部品供給態勢の確保等を図るための包括的な契約（PBL：Performance Based Logistics）を導入し、これらに要するコストを縮減。

（参考）平成28年度第3次補正予算（案）において、PAC-3MSEミサイルを搭載・運用しうるペトリオット・システムの導入を前倒し [縮減見込額：616億円（29.7%）]

※ 上記には、整備用予備機材の部品取得を含む、部品のまとめ買い効果419億円のほか、初度費を含む民生品の使用・仕様の見直し等による縮減見込み197億円を含む。

(2) 維持・整備方法の見直し [縮減見込額：540億円]

- 定期整備間隔の延伸等による維持整備コストの効率化
CH-47JAエンジンの既存エンジン改修による取得・整備 [縮減見込額：35億円]
護衛艦（ひゅうが・むらさめ型）プログラム試験機器整備の共通化 [縮減見込額：26億円]
クラウドシステムの導入に伴う機能集約及びソフトウェアの共通化（航空自衛隊クラウドシステム（仮称）） [縮減見込額：28億円]

(3) 民生品の使用・仕様の見直し [縮減見込額：582億円]

- 新艦対空誘導弾の開発 [縮減見込額：148億円]
類似の国内開発誘導弾をベースとした新艦対空誘導弾の開発。

(4) 装備品のまとめ買い [縮減見込額：467億円]

少量かつ長期間の整備の結果、高価格となっている装備品等について、経費縮減効果の見込まれるものを単年度にまとめて予算化し、効率化を追求。

(5) 原価の精査等 [縮減見込額：345億円]

主要装備品等について、機体価格や関連経費の精査等の取組みを通じ、価格低減を追求。

平成 28 年度第 3 次補正予算（案）の概要

※記載額は歳出ベース

—自衛隊の安定的な運用態勢を確保するため、1,706 億円を計上。

(1) 弾道ミサイル攻撃への対応（331 億円）

- 能力向上型迎撃ミサイル（PAC-3 MSE）の導入
PAC-3MSE を搭載・運用するための改修を実施し、弾道ミサイル対処能力等を向上。
- イージス・システム搭載護衛艦の能力向上等
「あたご」型護衛艦の弾道ミサイル対応に向けた改修の実施等。

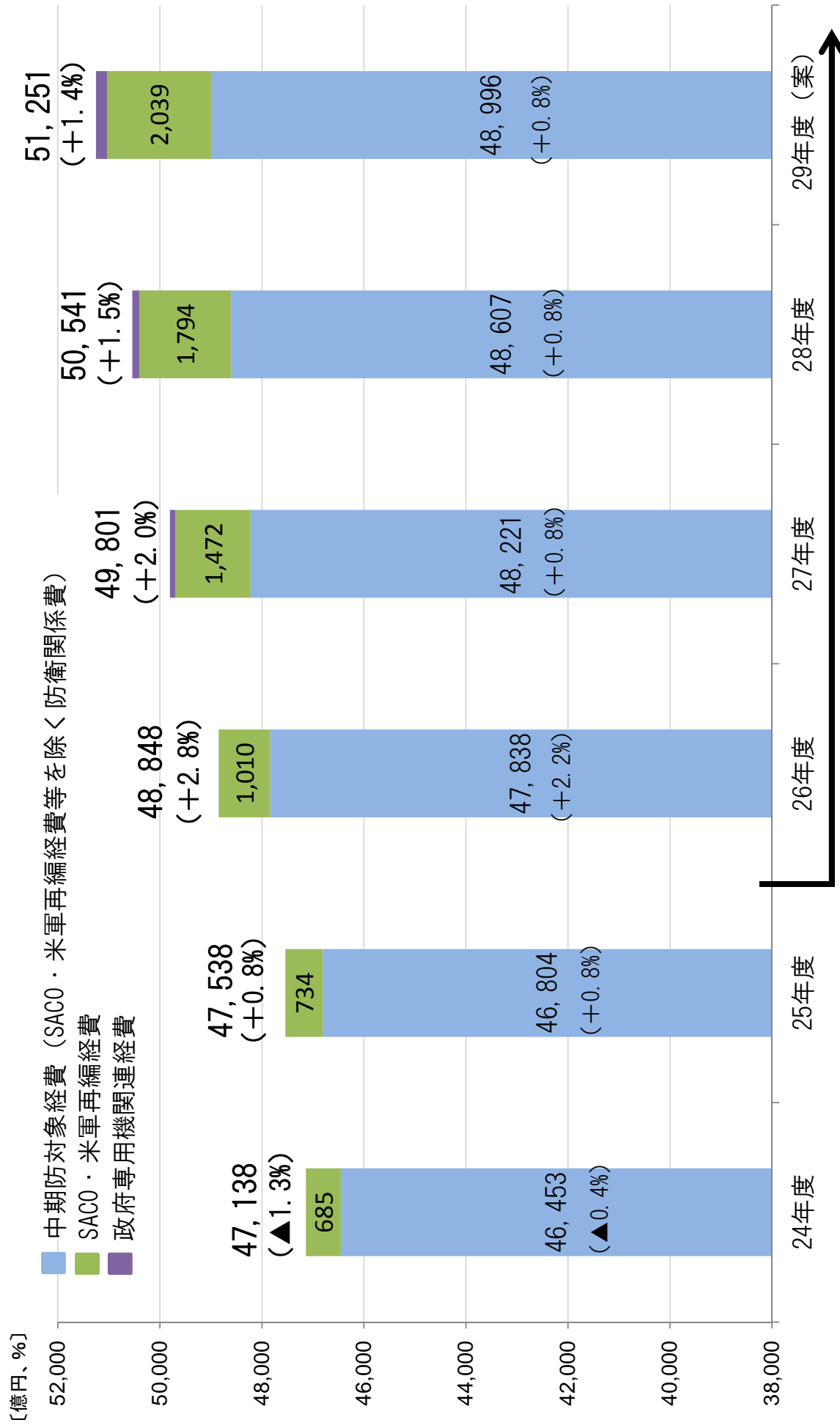
(2) その他（1,375 億円）

- 護衛艦、潜水艦、哨戒機（P-1）等の整備、救難飛行艇（US-2）、情報収集用器材、災害対処に必要な装備品等の調達
- 装備品等の部品費・修理費の確保、庁舎の耐震対策等
- PKO 活動等の派遣期間延長に係る経費等

※ この他、給与改定に伴い不足する自衛隊員の給与等として 55 億円、災害により被災した施設等の復旧として 8 億円を計上。

料
資
考
參

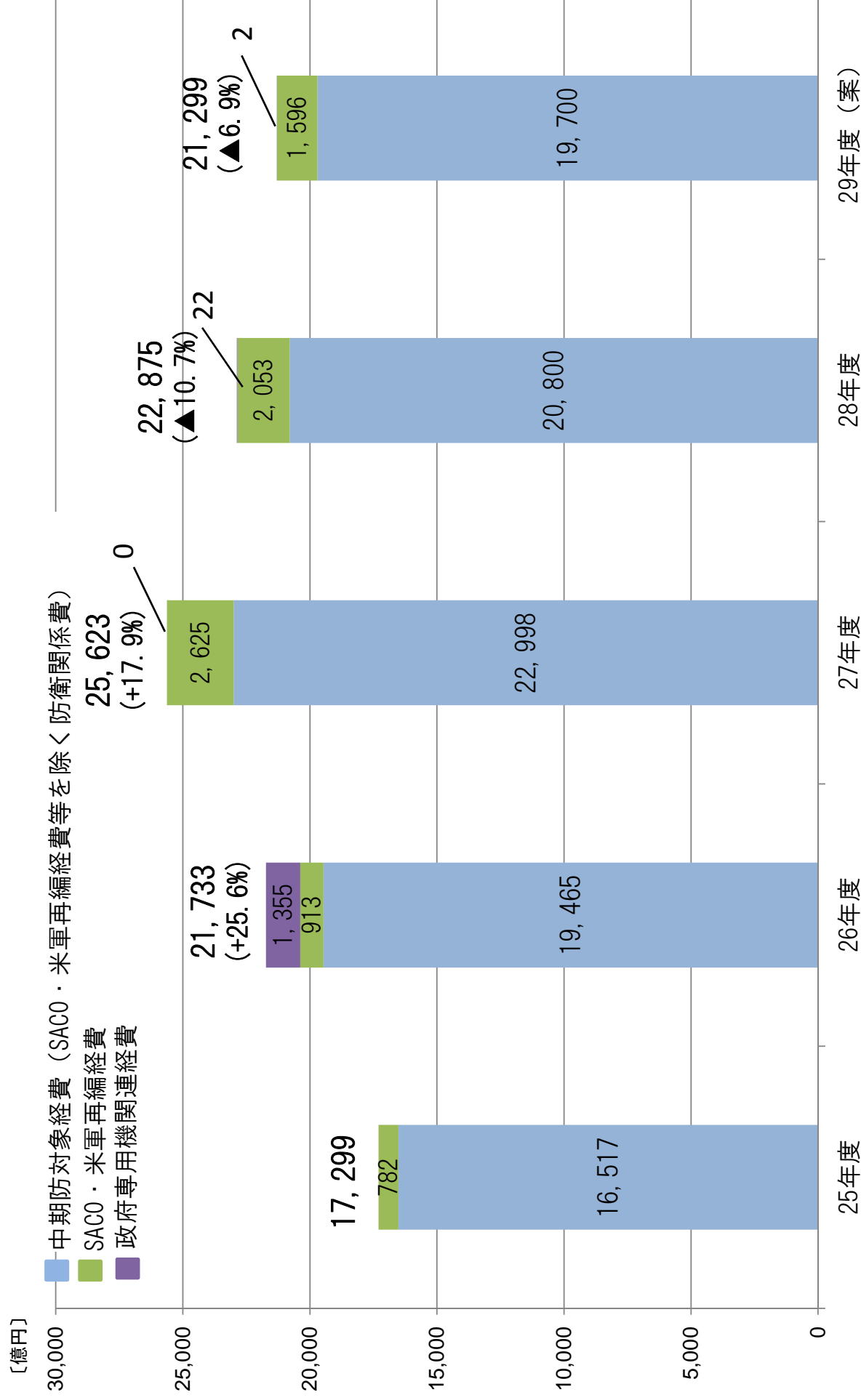
防衛関係予算の推移



26中期防衛力整備計画期間

- ※1 当初予算ベース
- ※2 括弧内は対前年度比
- ※3 26年度は、給与特例減額終了に伴う人件費増を含む。

新規後年度負担額の推移



※1 当初予算ベース

※2 括弧内は対前年度比

主要事業の概要①（周辺海空域における安全確保）

- 我が国周辺において、常統監視を行い、各種兆候を早期に察知する態勢を強化するため、情報収集や警戒監視態勢の強化に必要となる装備品の調達等を実施。

■ 潜水艦の建造

東シナ海をはじめとする周辺海域の警戒監視能力等の強化のため、探知能力等が向上した新型艦（3,000トン）を建造。



29年度予算案
728億円
(1隻)

■ 早期警戒管制機（E-767）の能力向上

南西地域をはじめとする周辺空域の警戒監視能力の強化のため、現有装置の換装及び搭載改修を実施。



29年度予算案
220億円
(2機)

■ 滞空型無人機（グローバルホーク）の取得

広域における常統監視能力の強化のため、滞空型無人機（グローバルホーク）を取得。



29年度予算案
168億円
(1機)

■ 掃海艦の建造

耐久性に優れたFRP製の掃海艦「あわじ」型3番艦（690トン）を建造。



29年度予算案
177億円
(1隻)

空自

海自

空自

主要事業の概要②（島嶼部に対する攻撃への対応）

- 島嶼部に対する攻撃に対応するため、常統監視体制の整備、航空・海上優勢の獲得・維持、迅速な展開・対処能力の向上、指揮統制・情報通信体制の整備を実施。

■ 戦闘機（F-35A）の取得

現有する戦闘機（F-4）の減勢に対応し、戦闘機部隊を維持するとともに、抑止力及び対処能力を向上させるため、後継機としてF-35Aを取得。



29年度予算案
880億円
(6機)

■ 16式機動戦闘車の取得

作戦基本部隊の機動展開能力を強化するため、機動運用を基本とする作戦基本部隊等に航空機等での輸送に適した16式機動戦闘車を取得。



29年度予算案
233億円
(33両)

陸自

■ 水陸両用車（AAV7）の取得

海上から島嶼部に部隊を上陸させるため、海上機動性及び防護性に優れた水陸両用車（AAV7）を取得。



29年度予算案
85億円
(11両)

陸自

■ 12式地对艦誘導弾（改）及び哨戒機用 新空対艦誘導弾の開発

現有品に比べて射程延伸等の機能・性能を向上させた12式地对艦誘導弾（改）及び哨戒機用新空対艦誘導弾を開発。



29年度予算案
115億円

（写真は現有装備の
12式地对艦誘導弾）

装備庁

主要事業の概要③（大規模災害等への対応）

- 各種の災害に際して、十分な規模の部隊を迅速に輸送・展開するとともに、統合運用を基本としつつ、要員のローテーション・シヨシヨシ態勢を整備することで、長期間にわたり、持続可能な対応態勢を構築。

■ 輸送機（C-2）の取得

現有する輸送機（C-1）の後継機として、航続距離や搭載重量等を向上させた輸送機を取得し、有事における機動展開等に対応できる態勢を整備。



29年度予算案
553億円
(3機)

■ 輸送ヘリコプター（CH-47JA）の取得

迅速かつ大規模な輸送・展開能力を確保し、実効的な対応能力の向上を図るため、輸送ヘリコプター（CH-47JA）を整備。



29年度予算案
445億円
(6機)

空自

陸自

■ テイルト・ローター機（V-22）の取得

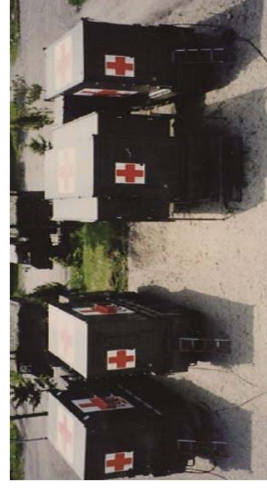
■ 野外手術システムの取得

輸送ヘリコプターの輸送能力を速度や航続距離等の観点から補完・強化するため、テイルト・ローター機（V-22）を整備。

野外での作戦等における救命率向上のため、外科治療を実施する器材を整備。



29年度予算案
391億円
(4機)



29年度予算案
2億円
(1式)

主要事業の概要④（米軍再編、基地対策等の推進）

- SACO・米軍再編については、岩国飛行場への空母艦載機の移駐等に伴う施設整備や普天間飛行場の移設等の推進のため、対前年度+245億円の2,039億円を計上。【表1】
- 基地対策等については、基地周辺地域の住宅防音や環境整備、在日米軍駐留経費負担を実施するため、対前年度+20億円の4,529億円を計上。【表2】

（単位：億円）

【表1】

	平成28年度予算額	平成29年度予算案	増▲減額
SACO・米軍再編関係経費	1,794	2,039	245
SACO関係経費	28	28	0
米軍再編関係経費	1,766	2,011	245

（単位：億円）

【表2】

	平成28年度予算額	平成29年度予算案	増▲減額
基地周辺対策	1,192	1,220	28
各種防音事業	483	485	2
民生安定助成事業	254	285	31
特定防衛施設周辺整備調整交付金	212	238	26
その他	243	212	▲31
在日米軍駐留経費負担（HNS）	1,920	1,946	26
施設の借料、補償経費等	1,397	1,363	▲34
合計	4,509	4,529	20

主要事業の概要⑤（調達効率化の推進）

防衛省作成資料
より抜粋

中期防の期間中における調達改革について

施策の例	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
長期契約を活用した装備品等及び役務の調達	—	417億円	148億円	110億円	
維持・整備方法の見直し（ロジスティクスの改革）	81億円	336億円	432億円	540億円	
民生品の使用・仕様の見直し	250億円	423億円	455億円	582億円	
装備品のまとめ買い	331億円	350億円	465億円	467億円	
原価の精査等	—	—	—	345億円	
単年度計	660億円	1,530億円	1,500億円	2,040億円 （注1）	要効率化額 約1,300億円
累計	660億円	2,190億円	3,690億円	5,730億円	7,000億円

（注1）28年度補正予算（第3次）案に前倒し計上したPAC-3MSEミサイルを搭載・運用しうるペトリオット・システムの導入に伴う縮減額616億円は、29年度における縮減額に含む。

（注2）計数については、一部概算のものがあり、今後変わらうる可能性がある。なお、計数は四捨五入によっているので計と符合しないことがある。

予算編成時における価格低減の取組み例

- 予算編成プロセスにおいて、機体価格や関連経費の精査等の取組を通じ、例えば以下の主要装備品をはじめ価格の抑制を実現。

価格低減の結果	内訳	イメージ
潜水艦 29年度概算要求 836億円 ↓ 29年度予算案 799億円 (37億円の削減)	<ul style="list-style-type: none"> 加工工数、材料費の精査等による船体価格の削減 ▲33億円 新装備品の試験治具等の見直し ▲4億円 	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">海自</div>
輸送機 (C-2) 29年度概算要求 685億円 ↓ 29年度予算案 570億円 (115億円の削減)	<ul style="list-style-type: none"> 機体価格▲47億円 (機体単価▲15.5億円×3機) エンジンの要求見送り▲67億円 (既取得分の活用) 等 	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">空自</div>
戦闘機 (F-35A) 29年度概算要求 1,369億円 ↓ 29年度予算案 1,190億円 (179億円の削減)	<ul style="list-style-type: none"> 機体価格▲66億円 (機体単価▲11億円×6機) 関連経費▲114億円 (技術支援費の見直し等) 	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">空自</div>

※概算要求額、予算案の額については、初度費、関連経費を含む。
 ※計数は四捨五入しているため、合計額と一致しない場合がある。